

令和 7 年 4 月 8 日

インターネットバンキング
ご契約者 各位

大阪シティ信用金庫

サポート詐欺、ボイスフィッシング詐欺の事例と対策について

いつも大阪シティ信用金庫のインターネットバンキングをご利用いただき、誠にありがとうございます。

早速ですが、新聞等での報道のとおり、サポート詐欺やボイスフィッシング詐欺によるインターネットバンキングの不正送金被害が全国的に発生しております。

つきましては、その対策について、下記のとおりまとめておりますので、ご参考願います。

記

1. サポート詐欺

【手口】

パソコン等でWEB閲覧中に、突然、大きな警告音とともに、ウィルスに感染したかのようなメッセージとサポートセンターの電話番号等が表示されます。

冷静さを失った利用者は、慌てて表示されている電話番号に架電し、ウィルス駆除のサポートと称して遠隔操作が可能となるアプリをダウンロードさせられます。

サポート料の支払いのため、インターネットバンキングのIDや各種パスワードの聞き取りのうえ、利用者に操作を促し、振込が実施（振込金額は高額な金額に修正されている）されます。

【対策】

- サポート詐欺画面が表示された時に、冷静な対応が可能となるよう、事前に当金庫ホームページ等により最新情報を確認してください。
- 大きな警告音とともに、ウィルスに感染したかのようなメッセージが表示されても、表示されている電話番号に架電することなく、パソコンの電源を切ってください。
- 大きな警告音が鳴らないよう、パソコンのスピーカーはミュートにしてください。
- ウィルス対策ソフトは、常に最新の情報に更新してください。

2. ボイスフィッシング詐欺

【手口】

金融機関や関連団体を騙る自動音声案内により、インターネットバンキングの利用状況等をプッシュボタン等で確認ののち、有人対応に切り替わります。

有人対応時は、契約情報や電子証明書の更新のためなどと称して、電子証明書の再発行、IDや各種パスワードを聞き出したうえで、不正な振込が実施されます。

【対策】

- 金融機関や関連団体等が架電のうえ、IDやパスワードを聞き取ることは絶対にありませんので、回答しないでください。
- 金融機関や関連団体等を騙る不審な電話は、一旦、通話を終了し、お取引店に確認願います。

3. 万一の被害を防ぎ、最小とするための方法

- 振込限度額の見直しを行い、適正な振込限度額への変更を行ってください【法人・個人】。
- 当日扱いの振込を停止する手続きを行ってください【法人】。
- サポート詐欺やボイスフィッシング詐欺等の仕組みや事例を確認してください【法人・個人】。

以 上